

体罰防止のための取組

八王子市立みなみ野小中学校

1 教員研修の実施

- (1) 年度初め、1 学期末、2 学期末に服務研修を行い、体罰や不適切な指導などを起こさないような意識を高める。研修の内容にアンガーマネジメントを取り入れる。
- (2) 職員会議等で服務事故事例に関する情報を教職員に提供し、服務事故防止に対する意識を高める。

2 意識高揚のためのスローガン作成

年度初めの研修を受け、体罰防止、不適切な指導、行き過ぎた指導を起こさないために、生活指導部が中心となり、教職員全員でスローガンを考え、職員室などに掲示し体罰防止の意識を高める。

3 体罰チェックシートの活用

毎月末に、「体罰防止セルフチェックシート」を記入し、一人一人が自己を振り返るようにする。

4 職場の体制・雰囲気づくり

- (1) 児童・生徒の生活指導に当たっては、共通認識の下、学校や学年全体で行っていくようにし、多角的で継続性のある指導体制を確立する。また、児童・生徒への指導は複数で対応する。
- (2) 教員が悩みを抱え込まないで、精神的にゆとりを生み出すような職場の雰囲気づくりを行う。パワハラや長時間労働につながらない環境をつくることが大切である。
- (3) 学校評価（地域・保護者アンケートなど）の情報などを活かし、体罰、不適切な指導、行き過ぎた指導などが起きないように、複数対応等を行う。
- (4) 児童・生徒に対し、日常的に不適切な指導や行為等がないように教職員同士で注意し合える雰囲気づくりを行う。
- (5) 「『よいおとな』になろう」を合言葉に教職員の意識改善、教員相互の声かけを行う。
【よ】よいところを褒めよう 【い】いつも笑顔を大切に 【お】怒らず叱ろう
【と】止まって深呼吸 【な】なんでも話し合おう